

平成 27 年度実施状況に関する外部有識者意見について

計画の平成 27 年度実施状況について 5 名の外部有識者にご意見をお聴きしました。概ね事業の進捗は順調であり、引き続き事業を着実に進めるようご意見をいただきました。主なご意見については以下のとおりです。

- 乗車人員や収支が好調なのは結構なことである。景気動向は悪化ではないが、企業の投資は慎重になっている。火急のコスト以外（広告や研修など）は控える傾向にあり、警戒感がある。子どもの数が急に減る傾向にはなく、高齢化は進むであろうが、人口がすぐに減るとは考えにくい。通勤定期が伸びているとのことであるし、通学も大学の都心回帰で伸びる余地がある。そのほかりニア開業やレゴランド開業で乗客が増える要素もあるので、今後 10 年くらいは計画にあるように投資をしていくなどチャレンジするとよい。
- どうやって利用者を増やすか考える時期。計画目標を上回っているので、投資をしてチャレンジできる余地がある。
- 地下鉄の 1 日当たり乗車人員が、平成 30 年度の計画目標値を上回っているのであれば、目標を上方修正する考え方もある。ただし、乗車人員は増減する可能性があるので、3 年程度の平均値で見する方法もある。
- 景気の動向もあると思うが、乗車人員が増えているのは、順調なことといえる。地域によっては、定期外の乗車人員は増えているが、定期の乗車人員は一度減った部分が戻っていないところもある。
- 実施状況として回数等が示してあっても順調であるかどうかわからない。例えば、幹部職員と現場職員の意見交換会の実施も回数だけでなく人数も示すなど、アピールできるものは実施状況の概要を積極的に示した方がよい。
- 8 割以上の進捗であれば順調とのことであるが、実質的に事業が問題なく推進されているかどうかをしっかりと確認するべきである。
- 安全対策として必要な投資やソフト面での対応、また、増収策や組織の改善策などの取り組みを積極的に行っており、それが経営状況の改善にもつながっているものと思われる。
- 可動式ホーム柵の整備は、山手線の場合、一旦島式ホームのうち片面のみ整備するやり方を行っている。投資が一度にできないときは、片方のみ整備していく方法もある。

- ・ 南海トラフ巨大地震は必ず発生するといわれている。駅や市バス営業所に人が集まったときの対応を考えるとよい。
- ・ 地震対策として国の補助を活用し積極的に耐震補強を進めてほしい。
- ・ 事故災害時に乗務員・駅務員をサポートする職員の応援体制については、正規の指揮命令系統に対し、支障のないもの、自主的にやっても迷惑をかけないものにする必要がある。
- ・ 事故災害時に乗務員・駅務員をサポートする職員の応援体制については、たまたま乗り合わせる職員がどのくらいあるかというのはあるが、応援体制をしっかりと検討しシステムとしてできるものがよい。
- ・ 出入口上屋の改修について、名古屋の出入り口は目立たず、殺風景なので遠目にもわかるよう工夫するとよい。東京メトロはわかりやすい。
- ・ 敬老パスがICカード化すると、バスをどう使っているかデータの解析ができるようになる。情報価値が高いので、ぜひ活用した方がよい。
- ・ ウェルカムボードは、京都のものがJRも近鉄も見やすく、またわかりやすい場所にある。研究するとよい。
- ・ 名城線は平日朝に女性専用車両が設定されたが、酔客が多くなる夜間への設定も必要である。また、土日に女性専用車両の設定がないが、女性が安心して乗車するためには、土日にも拡大することが望ましい。
- ・ イベントなどの実施は閑散期に行うようにして人を集めるのもよい。
- ・ バス停周辺の観光施設等の案内表示について、デジタルサイネージをつけるとよい。宇都宮などが参考になる。
- ・ 寄附金の返礼品として、鶴舞線と桜通線の連絡線乗車イベントのように他ではできない経験ができるようなものはどうか。連絡線の乗車ができないのであれば、桜通線車両で赤池～丸の内間を乗車できてもよいかもしれない。
- ・ 事故災害時に乗務員・駅務員をサポートする職員の応援体制だけでなく、セキュリティ面でテロ対策、暴漢対策を考える必要がある。最近、これまでに発生したことのないような事件がたびたび起きているので、全体の研修をするなど、どうするか考えるべきである。

- 東京メトロでは、エキナカワークスペースを試験設置している。イスと机が仕切って設置され、パソコンを使用して仕事ができるもの。栄の名城線のフロアなどのスペースが活用できるのではないかな。
- 市バスについては車両を目立たせるなどなんらかのコンセプトのある路線をつくって、PRすることにより利用促進につながれるとよい。
- 事業概要冊子「市バス・地下鉄」において、例えば10大ニュースなどの項目を作りアピールできるとよい。
- 子どもの頃からバスに乗る習慣があるとよいので、小学校の授業で地域のバスについて取り上げるとバスの乗り方や地域の地理等も把握できてよい。
- 市バス路線図は全市のものほかに、区域に分かれたものがあつた方が利用しやすい場合も多い。
- 地下鉄駅バスターミナルの有効活用調査について、保育所や託児所が駅の近くにあれば便利なので、その有効活用によりビル建設する場合は保育所や託児所を入れるなど、子ども青少年局とタイアップできるとよい。
- 大阪市交通局は民営化を検討しているとのことであるが、名古屋市は公営で事業を行うにあたって、しっかり事業に取り組んでほしい。

いただいたご意見を参考として、計画目標を達成できるよう事業を進めてまいります。